

ThreeBond



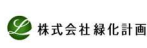
ALL JAPAN
SUPER FORMULA
Championship 2026

RACE REPORT



Round.8

Sportsland SUGO

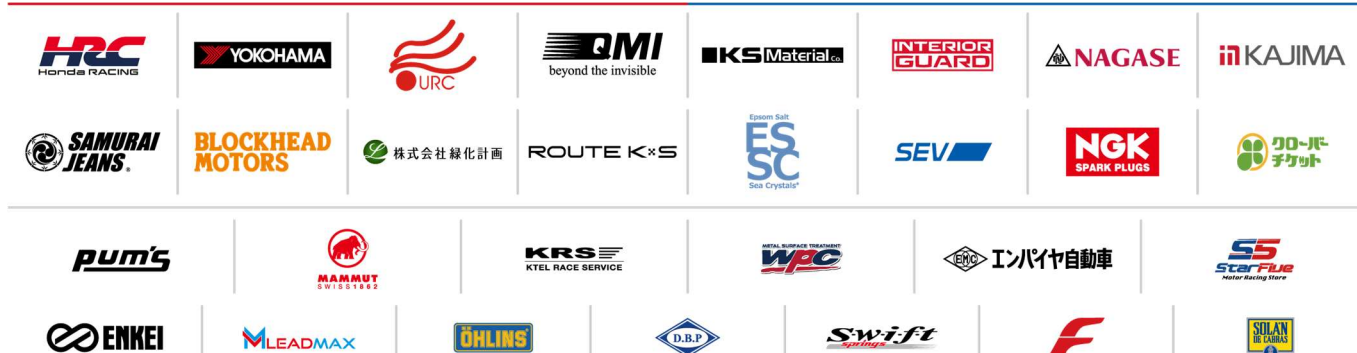




上位への期待、東北SUGO大会

全日本スーパーフォーミュラ選手権の今季第5大会(第8戦)が、8月8日(土)～9日(日)にかけて、宮城県のスポーツランドSUGOで開催された。今回は8日(土)にフリー走行と公式予選、9日(日)にフリー走行と第8戦決勝レースが開催され、1大会で予選決勝が各1回のフォーマットでの大会となっており、予選は第3戦と同様にQ1、Q2、Q3の3段階のノックアウト形式で行われる。

チームは前回の富士スピードウェイ大会で決勝の走行ペースには手応えを感じており、課題となっている予選のタイムを改善すべくミーティングと改善を重ね、レースウィークに備えていた。また今季チームに加入した小出 峻 選手は、昨年のスポーツランドSUGO大会で、他チームのマシンではあるもののフリー走行でベストタイムを記録しており、期待のかかる一戦となった。





Round.8 土曜日フリー走行&公式予選

今季は1大会1決勝レース制大会の場合、公式予選の方式が従来のQ1、Q2の2段階制から Q1、Q2、Q3の3段階制に変更されており、今大会は同様のフォーマットで行われた第3戦九州大会に続き、今季2回目となる3段階制予選が行われた。全24台の内、半分の12台ずつが出走するQ1A組、Q1B組からそれぞれ上位6台の合計12台がQ2に進出。更にQ2出走全12台の中から上位5台がQ3に進出。Q3でのタイムアタックで最終的な順位が決定される。予選1位には従来の選手権ポイント3点に加え、100万円の賞金が横浜ゴム株式会社から贈呈される。

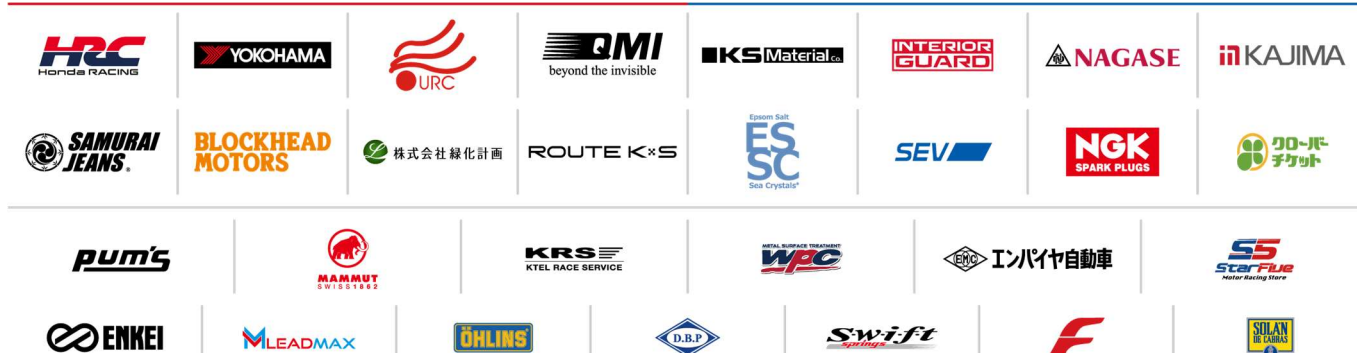
8日(土)、スポーツランドSUGOは前夜まで降っていた雨が上がり、朝のフリー走行は薄曇りの空の下、ドライコンディションで始まった。「SUGOは得意なコースの一つです」と言っていた小出選手だったが、コースを走りだすと、車両のリアタイヤ側のグリップが少ない傾向を感じ、ラップタイムを伸ばせないままにピットへ戻り、調整と走行を繰り返すこととなった。計90分間のフリー走行で様々なセッティングを試したものの小出選手のペースは上がらず、フリー走行でのタイムはトップから1秒167遅れの1分6秒947に留まり、出走24台中21番手のタイムで走行を終えた。

チームと小出選手はフリー走行後にマシンのセッティングを見直し、午後の公式予選を迎えた。小出選手はQ1B組に出走。出走12台のうち6台がQ2へ進出できる規則だが、小出選手はタイムアタックの結果1分6秒363に終わってしまい、Q2進出にはあと0秒707届かずQ1B組で12台中10番手、全24台の中での最終的な順位は19位となった。(上位車両にグリッド順降格のペナルティがあったことから、小出選手の決勝レースのスターティンググリッドは18番手)

公式予選開始までにマシンのセッティングを見直した効果はあったものの充分ではなく、残念な結果だった。



Pos	No	氏名/予選 Q3タイム
1	16	野尻 智紀 / 1' 04.864
2	6	太田 格之進 / 1' 04.896
3	65	イゴール・オオムラ・フラガ / 1' 05.137
19	12	小出 峻 (Q1タイム) / 1' 06.363





Round.8 日曜日フリー走行&決勝

9日(日)は朝に30分間のフリー走行と、午後に決勝レースが行われた。フリー走行は実質的に決勝レース想定の設定チェックの意味合いが強いが、トップから0秒372遅れの9番手タイムを記録。その後、チームはマシンに微調整を加え、決勝へと備えることとなった。

第8戦決勝レースのフォーメーションラップは午後2時20分に始まった。気温は28℃、路面温度は37℃で、接近していた台風の影響で不安定な天候ながらも路面はドライコンディションでのスタートとなった。スタート合図を受けた小出選手はトラブルなく加速したが、狭いコース幅での位置取りが難しく、一時後方から追い抜きをかけた松下選手に18番手のポジションを奪われたがハイポイントコーナーですぐに18番手のポジションを取り戻し、オープニングラップを終えた。

その後は前後共に車両が連なり、前後の車両のオーバーテイクシステム(OTS)使用状況が無線で小出選手に伝えながら、走行を続ける展開となり、4周目には9番手を走っていた野村選手がスピンしたためポジションは1つ繰り上がり、17番手となった。その後、5周目を終える最終コーナーから、前を走るブルツ選手がOTSを使えないタイミングを選んで小出選手はOTSを使用。ホームストレートでオーバーテイクし、16番手へと順位を上げた。

ルール上タイヤ交換が許される13周を経過し、一部のチームはピットインを始めたが、小出選手とチームはピットインを遅らせ前の車両がいない走りやすい状況の中でペースを上げる作戦を選択。15周目には9番手、21周目には7番手まで順位を上げた。

27周目、2台の車両が停止するアクシデントが発生し、セーフティカー(SC)が介入した。チームは即座にピットインすることを指示。小出選手はタイヤ交換を行い、コースへと復帰した。SC先導の隊列に戻った小出選手のポジションは11番手となった。

レースは36周目に再開。選手権ポイントが獲得できる10位が目前となった小出選手は、交換したばかりのフレッシュなタイヤを使って、前を走る佐藤選手を追い、42周目のホームストレートでオーバーテイクに挑んだ。OTSを使い、佐藤選手と並びかけたものの、第1コーナーのブレーキングでオーバースピードとなって姿勢を崩し、逆に後続車に順位を奪われる結果となった。

その後の挽回は叶わず、小出選手はスタートから5つ順位を上げた13位で決勝レースのチェッカーを受けた。





ドライバー:小出峻 コメント

SUGOは得意としているサーキットだったので楽しみにしていましたが、土曜日のフリー走行は走り出しから思っていたようなフィーリングではなく、調子が上がりませんでした。フリー走行中と走行後も出来る限りの調整を行ったのですが、予選上位を獲得するところまでは至りませんでした。ただ、今シーズン上がって来た調子が元に戻ってしまったということではなく、単にこのコースとセッティングが合わなかったというだけだと感じています。実際に今回も決勝のペースは悪くありませんでした。タイヤ交換のタイミングを含めて戦略も上手くいき、決勝スタートから順位を上げることができました。

レース終盤では、もう1つ順位を上げればポイントが獲得できる状況だったので、追い抜くためにオーバーテイクシステムを使用するタイミングをずらして挑戦したのですが、第1コーナー外側から追い抜きをしかけた時に、オーバースピードになってしまい、少しコースを外れて、逆に順位を落としてしまう結果となってしまい、この点は残念でした。

やはり課題は予選のタイムです。次戦の富士スピードウェイは、決勝についてはある程度ペースになるマシンのセッティングを見つけられているので、予選さえ克服できれば、上位を狙えると思います。もちろん他のチームも調子を上げてくると思うので油断はできませんが、次戦までは約2ヶ月の期間が空くので、入念に準備を行いたいと思います。



監督:塚越広大 コメント

SUGO大会に向けて、マシンのセッティングには少し変更を加えて臨みましたが、セッティングの方向性があまり良くなく、その修正に手こずり、予選結果が伸びませんでした。決勝に関しては、走行ペースは比較的良く、セーフティーカー介入時にピットインした戦略も決して悪くなく、順位を上げることができました。惜しくも選手権ポイント獲得とはなりませんでした。決勝の強さは今回も出せたと思います。

次戦はまた富士スピードウェイに戻りますが、前回の富士大会の実績もありますし、まず予選で上位を獲得し、前方から決勝をスタートすることに向けて準備をしていきたいと思っています。残り2大会ですが、富士スピードウェイと鈴鹿サーキットは、今年既にレースをしていますから、落着いてレースができるはず。期待していただきたいと思っています。



トラックエンジニア:大駅俊臣 コメント

予選がまたしても上手くいかず、今回の大会はそれが全てでした。SUGO大会に向けては、車両のセッティングの土台は変えていないのですが、様々調整を加えたのが良くなかったようです。特に思い切った調整をしたわけではなく、些細なことだったのですが、思った方向にはなりませんでした。方向性を修正するのに時間が掛かってしまい、公式予選までにリカバリーすることができませんでした。

決勝は下位スタートながらも、いつも通りの順位まで戻ってこれましたが、やはり予選で前方に位置しないといけません。決勝での速さについては、中団勢の中で戦うのであればそれなりの順位を狙える自信はつきましたが、上位の集団と走ってどうなのかは考えなければなりません。次の富士スピードウェイ大会は前回のレースで良い感触があったので、予選タイムを課題に準備を進めます。





Round.8 レース結果

Pos	No	Driver	Team	Time
1	14	福住 仁嶺	NTT docomo Business ROOKIE	1:05' 17.129
2	1	岩佐 歩夢	TEAM MUGEN AUTOBACS	1:05' 17.634
3	65	イゴール・オオムラ・フラガ	PONOS NAKAJIMA RACING	1:05' 18.068
4	6	太田 格之進	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	1:05' 21.937
5	16	野尻 智紀	TEAM MUGEN AUTOBACS	1:05' 23.267
6	5	牧野 任祐	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	1:05' 25.760
7	36	坪井 翔	VANTELIN TEAM TOM'S	1:05' 26.380
8	37	サッシャ・フェネストラズ	VANTELIN TEAM TOM'S	1:05' 27.104
9	19	ザック・オサリバン	TEAM IMPUL	1:05' 29.394
10	64	佐藤 蓮	PONOS NAKAJIMA RACING	1:05' 31.290
11	3	ルーク・ブラウニング	REALIZE KONDO RACING	1:05' 31.575
12	7	小林 可夢偉	KDDI TGMGP TGR-DC	1:05' 32.243
13	12	小出 峻	ThreeBond Racing	1:05' 34.485
14	8	山下 健太	KCMG	1:05' 52.281
15	39	大湯 都史樹	SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING	1:05' 56.981
16	22	松下 信治	DELIGHTWORKS RACING	1:05' 58.524
17	10	ジュジュ	HAZAMA ANDO Triple Tree Racing	1:06' 01.887
18	53	チャーリー・ブルツ	TEAM GOH	1:06' 02.001
19	9	ジュリアーノ・アレジ	KCMG	1:06' 02.623
20	50	野村 勇斗	San-Ei Gen with B-Max	1:06' 05.959
21	28	小林 利侑斗	KDDI TGMGP TGR-DC	1:06' 18.069
-	4	笹原 右京	REALIZE KONDO RACING	24Laps 遅れ
-	38	阪口 晴南	SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING	26Laps 遅れ
-	97	ロマン・スタネック	ナビクル Buzz MK RACING	26Laps 遅れ





Drivers Ranking

順位	ドライバー	合計	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7	Rd.8
			もてぎ	もてぎ	AP&富士	鈴鹿	鈴鹿	富士	富士	SUGO
1	太田 格之進	105	2+10	3+20	2+2	4	11	20	1+20	2+8
2	岩佐 歩夢	59.5	3+7.5	1+3	3+0	3+0	2+15	1	6	15
3	福住 仁嶺	58	0	11	0	1	3+20	0	3	20
4	イゴール・オオムラ・フラガ	51	4	0	12	0	3	5	15	1+11
5	牧野 任祐	41	0	0	6	0	1+5	11	2+11	5
6	坪井 翔	37	1	0	7	11	6	0	8	4
7	サッシャ・フェネストラズ	34.5	2.5	0	5	20	4	0	0	3
8	大湯 都史樹	31	0	2+6	4	5	0	2+8	4	0
9	野尻 智紀	31	2	0	1+9	2+0	0	0	3+5	3+6
10	阪口 晴南	27	0	15	0	0	8	4	0	0
11	ザック・オサリバン	27.0	0	5	0	2	0	3+15	0	2
12	ルーク・ブラウニング	20	0	8	0	8	0	1+3	0	-
13	松下 信治	16	0	1	0	15	0	0	0	0
14	小出 峻	11	3	2	0	0	0	6	0	0
15	佐藤 蓮	10.5	1+5.5	0	1	0	2	0	0	1
16	チャーリー・ブルツ	6	0	0	0	6	0	0	0	0
17	山下 健太	5	0	4	0	0	0	0	1	0
18	野村 勇斗	5	2	0	0	1+0	0	2	0	-
19	ロマン・スタネック	3.5	0.5	0	0	3	0	0	0	0
20	小林 利徠斗	3	0	0	3	0	0	0	0	0
21	小林 可夢偉	3	0	0	0	0	1	0	2	0
-	笹原 右京	0	0	0	0	0	0	0	0	0
-	ジュリアーノ・アレジ	0	-	-	-	-	-	0	0	0
-	野中 誠太	0	0	0	0	0	0	-	-	-
-	ジュジュ	0	0	0	0	0	0	0	0	0





Team Ranking

順位	チーム	合計	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7	Rd.8	Rd.9	Rd.10	Rd.11	Rd.12
			もてぎ	もてぎ	AP&富士	鈴鹿	鈴鹿	富士	富士	SUGO	富士	富士	鈴鹿	鈴鹿
1	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	133	0+10	0+20	6+2	0+4	5+11	11+20	11+20	5+8				
2	VANTELIN TEAM TOM'S	71.5	1+2.5	0+0	7+5	11+20	6+4	0+0	8+0	4+3				
3	TEAM MUGEN AUTOBACS	69	7.5+1.5	3+0	0+9	0+0	15+0	1+0	6+5	15+6				
4	PONOS NAKAJIMA RACING	60	5.5+4	0+0	1+12	0+0	2+3	0+5	0+15	1+11				
5	NTT docomo Business ROOKIE	55.0	0	11	0	1	20	0	3	20				
6	SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING	54	0+0	15+6	0+4	0+5	8+0	4+8	0+4	0+0				
7	TEAM IMPUL	24	0	5	0	2	0	15	0	2				
8	REALIZE KONDO RACING	19	0+0	8+0	0+0	8+0	0+0	3+0	0+0	0+0				
9	DELIGHTWORKS RACING	16	0	1	0	15	0	0	0	0				
10	ThreeBond Racing	11	3	2	0	0	0	6	0	0				
11	TEAM GOH	6	0	0	0	6	0	0	0	0				
12	KDDI TGMGP TGR-DC	6	0+0	0+0	0+3	0+0	1+0	0+0	2+0	0+0				
13	KCMG	5	0+0	4+0	0+0	0+0	0+0	0+0	1+0	0+0				
14	San-Ei Gen with B-Max	4	2	0	0	0	0	2	0	0				
15	ナビクル Buzz MK RACING	3.5	0.5	0	0	3	0	0	0	0				
-	HAZAMA ANDO Triple Tree Racing	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

